

事務事業名		高齢者生活支援及び事業送迎用マイクロバス購入事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:1: 安心安全な暮らしを支えるまちづくり			所属課	保健福祉課	担当	高齢対策担当
	施策名	0:3: 高齢者福祉の充実			課長名	柿沼 勝廣	担当者名	和気 剛
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		一般	0:3	0:1	0:4	0:0:1	高齢者生活支援費	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度			年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在、介護予防事業等の送迎に利用しているマイクロバスは購入から26年が経過して、車体全体、駆動部、付属機能に不具合を生じている。高齢者の家族構成における「一人暮らし」の割合が全体の8%に達している。このような現状のなか、今後も各種事業時の送迎に関しては、現在使用している程度の乗車人数が確保できるマイクロバスが必要であることから、今後四半世紀以上にわたって使用してきた車両の更新を図るものである。</p> <p>なお、車両の購入にあたっては地域福祉基金を取り崩して購入費用に充当したい。 ※平成26年12月現在 地域福祉基金残高 204,320,757円</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 車検等費用 150,000円 燃料費等 200,000円(現在実績値) 修繕費等 50,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	マイクロバス 26人乗り購入	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	65歳以上高齢者	ア: マイクロバス購入	台
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	介護予防、生活支援によって住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指す。	イ: 65歳以上高齢者	人
		ア: 介護保険認定人数	人
		イ:	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	0	1	0	0	0	1
	イ	実績値						
対象指標	ア	目標値		3,846	3,902	3,916	3,955	3,908
	イ	実績値	3,841					
成果指標	ア	目標値	554	564	582	615	624	640
	イ	実績値						

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円		8,000			
	一般財源	千円					
事業費計 (A)		千円	0	8,000	0	0	0

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
事業費計 (A)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	介護保険の給付費抑制、制度の持続性を考えた場合、高齢者の生活支援、介護予防を推進することは保険者である町の責任である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	これまで使用してきたマイクロバスが購入から25年以上を過ぎて、安全性の面からも更新する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	安価な車両購入についても検討を行ったが、高齢者の利用を考慮した場合、ノンステップ等の装備が必要となることから事業費を算定した。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町民65歳以上の高齢者が対象となるので、公平性と公益性は確保される。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 27 年 1 月 5 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・26年経過しているため、更新は妥当 ・基金の取崩し時期については、満期後が望ましいので、財務担当と協議すること。

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業